

ありおか通信



令和6年9月4日

校長 森本 一登

令和6年度全国学力・学習状況調査分析について

6年生を対象に、令和6年4月18日（木）に行われた「全国学力・学習状況調査」について、本校の結果等をお知らせいたします。なおこの調査で測定できるのは、学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一つの側面です。



1. 児童に対する調査

（1）学力に関する調査

＜全国学力・学習状況調査＞

〔国語・算数〕※それぞれ45分

①身につけておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等

②知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等にかかわる内容

※上記①と②を一体的に問う

（2）学習状況に関する調査（児童質問紙）

児童質問紙調査は、児童が活用するICT端末を用いたオンラインによる回答方式で行われ、小学校第6学年の児童対象の、学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する質問紙調査

2. 調査結果について

・学力に関する調査結果について

国語、算数の正答率に関しては、いずれも全国平均、兵庫県平均を上回る結果となりました。

国語では、目的や意図に応じて集めた材料を分類し関係づけることや、情報の関係づけなど、成果がみられました。しかし、自分の考えを文章表現することに課題はみられました。また、記述式での無解答が目立ち「書くこと」への課題がみられた一方、漢字を使って書き表す問題において、同音異義語によるミスが目立ちました。

算数では、与えられた条件を理解した上で、問題の意図に合う解答が導き出せないところや、速さの概念が理解できていないところに課題がありました。また、データを読み取る力はあるが、出題の意図を読み取り、自分のことばで表現することに課題がみられました。

・学習状況に関する調査(児童質問紙)結果について

調査結果から、生活習慣に関すること「朝食を毎日食べている」「毎日同じくらいの時刻に寝ている、起きている」については、例年と同様に肯定的な回答が多く、満足できる結果でした。また、「学校に行くのは楽しい」については、肯定的な回答が多く、学校生活を満足している児童が多くなることがうかがえます。

自己肯定感の育成については、昨年度より学校行事等を活用し取り組みを進め、「自分にはよいところがあると思う」「先生はあなたのよいところを認めてくれる」「将来の夢や目標を持っている」等、肯定的な回答をした児童が多くなり、日頃の取り組みの成果があらわれています。今後も児童が、様々な活動を通し、活躍できる場で自己表現し、まわりから認められることで自己肯定感が高まっていくと考えています。

学習面では、家庭学習の時間を確保できている児童が多く、家庭での学習習慣が定着していることがうかがえます。しかし、昨年と同様「各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行った」「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができた」等の学びに対する態度や姿勢に関することに課題がありました。引き続き、児童が主体的に学びに対して取り組み、感じたことや思ったことを表現できる授業づくりに努める必要性を感じました。

【主な調査結果は以下の通りです。】

・朝食を毎日食べている	本校 97.5%（全国 93.7%）
・自分には良いところがあると思う	本校 87.1%（全国 84.1%）
・先生はあなたのよいところを認めてくれると思う	本校 82.3%（全国 89.9%）
・将来の夢や目標を持っている	本校 81.5%（全国 82.4%）
・学校に行くのは楽しいと思う	本校 84.7%（全国 84.8%）
・平日の授業以外の学習時間が1時間以上である	本校 62.9%（全国 54.6%）
・課題の解決に向けて自分で考え、自分から取り組んだ	本校 77.4%（全国 81.9%）
・各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行った。	本校 75.8%（全国 79.6%）
・学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができた	本校 81.4%（全国 86.3%）
・PC、タブレットなどのICT機器を、どの程度し ようしましたか(週1回以上)	本校 93.5%（全国 85.5%）

＜今後の取り組みについて＞

国語では、与えられた情報をすべて使い自分の考えをまとめ、解答を導き出すことを、日頃の授業の中に取り入れ、「書く力」の学習と、継続して同音異義語など、漢字の反復練習や場面にあった漢字の使い分けの指導に力を入れていきます。また数学では、図形の活用や速さの概念の理解が十分でない点に課題があり、日々の授業での問題を通してポイントを押さえて指導していきます。また、与えられた条件を理解した上で、問題の意図に合う解答が導き出せないところは、国語と繋がる部分でもあります。読解力を付けさせる取り組みを国語と併せて指導していきます。また、データを活用した問題が多く出題されているため、「データの活用」を積極的に授業に取り入れ指導していきます。

今年の調査でも、「話し合い活動」や「グループワーク」に課題がみられました。「教科」「総合の時間」「学級活動」などの場面で、子どもたちが他者の意見を聴き、自分の考えを整理しわかりやすく伝えることのできる力をつけていきます。

また、どの児童にも「自己肯定感」が育つよう、学級活動、委員会活動等を通して相手の立場に立って物事を考え、実践できる子どもの育成を図っていきます。

子どもたちが心豊かに成長できるよう、学校で取り組んでまいります。ご家庭におかれましてもご協力をお願いいたします。

